

○ 理科 小学校第5学年 ③

「物の溶け方」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点			
			関意	思表	技	知理
(1) ①	水の温度とものがとける量の関係を調べる実験において、一定にすべき条件を選択できるかをみる。	第5学年A物質・エネルギー (1) 物の溶け方 ア 物が水に溶ける量には限界があること。		○	○	
(1) ②	水の温度が一定な場合、ものがとける量は、水の量によって変化するという規則性をもとに、とける量を求めることができるかをみる。			○		
(2) ①	一定量の水に溶ける物質が量は、とけるものによって違うという性質を利用して、温度を下げることで、取り出しやすい物質を選択できるかをみる。	第5学年A物質・エネルギー (1) 物の溶け方 イ 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと。また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができること。		○		
(2) ②	温度を下げることで、取り出しやすい物質を選択した理由を記述できるかをみる。			○		